

理事会だより ～第3回～

理事会は、通常総会で議決された18人の理事と2人の監事によって構成され、一期2年の任期で、学会内のいろいろな仕事を分担して受け持っています。理事会はどんなことを行っているのか、会員のみなさんにもご理解いただけるように、今回、「理事会だより」というコーナーを企画しました。

掲載は不定期となりますが、理事がそれぞれの担当内容について、わかりやすく説明します。ぜひお読みいただき、学会活動に対して興味をもっていただけたら大変幸いです。どうぞよろしくお願いします。

★「理事のお仕事」

長い間（4年間？）理事を拝命しておきながら働きが悪かったため、最後のご奉公で「理事会だより」の宿題をいただきました。この学会には理事会というものが一般社団法人法という法律に則って存在しておりまして、19人くらい居られます。学会誌の読者の方にとってみれば、職場や学会で顔を見る以外あまり関係のないように思われるかもしれませんが、油断していると、ちゃんと地域の自治会や掃除当番のように回ってきます。学会の経営を行うのが理事会で、法律と定款により定義されています。やるべき事業も定款に書かれています。核融合研究者に最も遠そうで読んだ人はめったにおられません。理事には必要な知識です。儲けちゃいけない法人なので、お金には苦労するのですが、もし大穴が空くと責任を取らされる恐れのある人もいます。会員増強と収入の確保は重要任務です。あとはひたすら、重要だけれど雑用とっていい仕事ばかりで、特に上のほうの偉い人になりますと、編集や会計や総務などの大変な仕事を任せられ、学会賞の選考などもします。私は核融合炉工学領域の担当として、プログラム編成やシンポジウムの企画などを手伝わせていただきましたが、講演者や座長を、若手発表賞審査とかぶらないように配置するのが大変でした。

さて、京大の教員としての研究者が理事としてお務めをしているうちに大学内で核融合の会社「京都フュージョニアリング」を設立してしまったので、期せずして中小企業会員代表みたいになりました。その目から見るとこの学会は大研究所や大学や大企業の方ばかりで、零細企業には肩身の狭いところです。ところが世界的にみると、今やこういう学会や核融合業者の会合でも、スタートアップは数も多いし活発に人的な交流も進んでいて、活動の一つの中核になってます。いつの間にか、核融合の世界にも、新興の中小企業が重要な役割を果たす時代になったようです。今後はこの新しい風を、少しでも会員の皆様にお届けできればと思っています。

京都フュージョニアリング・京都大学 小西哲之

学会ホームページ：「会員専用ページ」パスワードのお知らせ

学会ホームページの「会員専用ページ」に規定等を掲載しています。「会員専用ページ」に入るために必要なパスワードは下記に記載のとおりです。毎年学会誌7月号でお知らせいたします。

- ・パスワード：学会誌Vol.98-7月号 p.317をごらんください
- ・会員専用ページ：<http://www.jspf.or.jp/JSPFmembers/>